

(株)みらい共創ファーム秋田ほか (秋田県大潟村ほか)

実証面積：2.4ha

**実証課題名** 秋田県産タマネギの生産性改善による自給率向上モデル実証

**構成員** 農研機構東北農業研究センター、(株)みらい共創ファーム秋田、(株)ベジリンクあきた男鹿、(有)折林ファーム、農研機構農業情報研究センター、農研機構西日本農業研究センター、農研機構野菜花き研究部門、農研機構植物防疫研究部門、(株)NTTアグリテクノロジ、東日本電信電話(株)、山梨大学、秋田県産業技術センター、双日(株)、秋田県立大学、秋田県農業試験場、秋田県由利地域振興局、大潟村、男鹿市、由利本荘市、JA秋田なまはげ、JA秋田しんせい、丸果秋田県青果(株)



**背景・課題** 東北地域のタマネギ生産は、定植・収穫作業の適期が大産地である西日本や北海道よりも短く、大規模になるほど適期作業を行うことが難しい(収量低下の要因となっている)。本実証では、スマート技術を導入することで作業効率向上と収量増加を目的としている。



本実証プロジェクトにける想い



- 目標**
- 収量 4t/10a 以上 かつ 20% 以上の増収
  - 定植作業時間を 25% 削減
  - 選果作業時間の 50% 削減

実証する技術体系の概要

- 要素技術**
- ① 遠隔営農指導システムの開発と実証(病害予測、環境データの蓄積、システム開発)
  - ② ロボトラの導入とシェアリング(作業効率の評価、経営コストの評価)
  - ③ AI自動選果システムの開発と導入(画像診断、システム開発)

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる！」ポイント					②		①					

**① 遠隔営農指導システムの開発と実証**

**② ロボトラの導入とシェアリング**

**③ AI自動選果システムの開発と導入**

- 問い合わせ先**
- ▶ **実証代表** 農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域野菜新作型グループ長 室崇人
  - ▶ **視察等の受入について** 農研機構東北農業研究センター研究推進部研究推進室(広報チーム)  
電話:019-643-3414 e-mail:www-tohoku@naro.affrc.go.jp